

「郷土伝統文化（太鼓）」伝承活動の取組

1 学校名

十島村立口之島小・中学校

2 学年・人数

小学生 9 人（2 年 1 人，3 年 3 人，4 年 1 人，5 年 3 人，6 年 1 人）

中学生 3 名（1 年 1 人，2 年 1 人，3 年 1 人） 合計 12 人

3 日時・場所

平成 26 年 5 月 21 日（水） 13:00～14:00

口之島小中学校体育館

（1）練習の日時・場所

平成 26 年 5 月 1 日（火）～5 月 21 日（水）

口之島小中学校体育館

（2）発表の日時・場所

平成 26 年 5 月 21 日（水）

口之島小中学校体育館

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

口之島太鼓（くちのしまだいこ）

（2）由来

口之島伝統の祭りの席で歌われる甚句や祝い歌の伴奏として，継承されてきたものであるらしい。独特の歌い回しや抑揚にも即座に対応しながら演奏する技能が求められ，後継者はごく限られた人物のみとされており，詳しい発祥は不明である。狂言踊りと同様に 200 年以上前から，口伝のみで伝わる太鼓術である。

（3）構成等

一人でバチを 2 本使用し，強弱や縁を叩くタイミングなどの微妙な技能が必要とされるが，基本のバチさばきはあるものの，唄者の声の抑揚やこぶし回し等に柔軟に合わせていく。

5 保存会や地域との連携の具体

正式な保存会はないが，有志による保存への働きかけや継承者の募集等は随時行っている。特に，児童生徒の中から興味や関心を示し，継承する意志を示してくれることを期待している状況にある。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

口之島に伝わる伝統芸能に実際に触れさせ，児童生徒に興味関心を持たせる

ため、実際にバチさばきを体験させたりしながら、その気持ちが高まるのではないかと企画した。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



バチさばき練習



講師による指導



バチさばき練習

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

技術的にも難しい口之島太鼓ではあるが、児童生徒の興味関心は高く、指導者も意欲的に巡回しながら指導していただいている。太鼓を叩く姿が魅力的だったと島民の思い出話は、事実だったのだろうと思いを馳せることである。

（保護者）

「郷土伝統文化（盆踊り）」伝承活動の取組

1 学校名

十島村立口之島小・中学校

2 学年・人数

小学生 9 名（3 年 4 人，4 年 1 人，5 年 3 人，6 年 1 人）

中学生 1 名（1 年 1 人） 合計 10 人

3 日時・場所

平成 26 年 8 月 15 日（金） 9：00～15：00

口之島トンチ（殿地）及びテラ（墓地）

（1）練習の日時・場所

平成 26 年 8 月 6 日（水）～1 週間（生協販売所近く）

（2）発表の日時・場所

平成 26 年 8 月 15 日（金）（トンチ及びテラ）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

口之島盆踊り（狂言）（くちのしまぼんおどり（きょうげん））

（2）由来

口之島伝統の「盆踊り」は，約 200 年以上も前から継承されてきたものである。

口伝だけの方法で伝えられ，演じ続けられてきた。独特の言語による会話や仕草は，参加者全員が真剣に練習を重ねなければ踊れない内容である。

（3）構成等

1 番～3 番までの場面があり，それぞれが物語形式になっている。トンチでは悪人による狂言が加わり，テラでは笑い話加わる。全体的には 5 つの場面になるようである。

5 保存会や地域との連携の具体

保存会は自治会が主体となり，青年団を中心に役を決め，教職員も協力して約 1 週間練習し本番に臨んでいる。口伝のみのため指南役が踊って見せ，甚句を一言ずつ伝え，厳しく指導されている。また，小・中学生が参加する子踊りも，自治会長が指南役となって指導し，本番には場面ごとの合間に子踊りが入り，山海留学生として本校に通い，盆に合わせて島に帰省した子どもも参加することもある。

男性しか参加できない盆踊りには，裏方で活躍する女性のサポートがあり，食事や飲み物，浴衣の準備まで，気配りをする姿や合いの手を入れるなど，場面を盛り上げてくれる役も担っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

口之島に伝わる伝統芸能を実際に体験し、将来は島に帰ってくるか、あるいは盆の時期だけでも帰ってきてくれることも望みながら参加を呼び掛けている。島独自に開催される多くの祭りの中でもこの「盆踊り（狂言）」は、最も重要で大切な行事として守られている。自治会とも協力しながら、授業の合間を利用し、祭りの見学や取材などの申込をするが、今のところなかなか許可が降りないのが現状である。

盆踊り以外は見せる物ではなく、島の神様に奉納するものであるという島の人々の熱い思いや信仰が強く根付いていることを感じる。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



口之島盆踊り



口之島盆踊り



口之島盆踊り

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

一時期、盆に島に残る児童生徒が1～2人だったこともあり、島民も悲しく思っていた時期もあったらしい。しかし、今では楽しみに口之島を訪れる観光客も増え、参加する児童生徒も増えてきた。興味だけではなく「参加できた」という自信を持つ機会にもなっているようで、自治会としても喜んでいる。